

電子レンジ

食品や容器・包装に合った過熱を！

国民生活センターより電子レンジの使用時に関する注意喚起がありましたのでお知らせします。



サツマイモを容器に入れて電子レンジで加熱した。サツマイモがまだ固かったので、再度自動ボタンを押して加熱し、その場を離れた。
戻って来たら部屋中が煙だらけになっていた。

レトルトカレーを食べようと思い、外箱ごと温めたら発火し、外箱が燃えてしまった。いつも電子レンジ対応のレトルトカレーを食べていたので同様にしたが、当該商品の包装は電子レンジ対応ではなかった。



消費者へのアドバイス

食品が少量の場合や、根菜類など水分が少なめの食品では、急速に加熱が進み、煙が出たり発火したりすることがあります。手動で加熱時間を控えめに設定し、その場を離れず様子を見ながら加熱しましょう。

レトルト食品や冷凍食品は、アルミ包装など電子レンジに対応していない包装の場合もあります。使用の際は電子レンジ対応包装であるかなど、表示を必ず確認してください。

発煙・発火した際は、すぐに動作を停止させ、電源プラグを抜き、扉を開けずに収まるのを待ちましょう

消費生活協力員の声



今年の夏、こんな出来事がありました。
我が家は豆乳が大好きです。常温保存が可能なので6本入りを箱買います。

6月中旬、いつものように買い物を済ませ、ふとレシートを見ると、豆乳が「1014円」と表記されていることに気がきました。売り場では950円と表記されていました。

私はすぐサービスカウンターに申し入れました。責任者の方は「この豆乳は今年4月から値上がりしていて、レジは値段の設定を変更したが、売場の値札は値上がり前のままでした」と言われ、差額分を返金してもらいました。

「私はたまたま今日気付いて返金してもらったけど、他にもこの豆乳を買われた方はたくさんいらっしゃると思いますが…」と店の責任者に伝えると、「売場に張り紙をして、4月以降のレシートを持っている方には、同じように差額分を返金いたします。」と言われました。その後、店側は2ヶ月間張り紙をしてきちんと対応してくださいました。

レシートが無ければ購入金額が違うことに気付かなかったし、返金対応もされなかったのも、レシートの重要性に改めて気付かされました。

教訓!

レシートは合計金額だけでなく、内容もきちんと確認しましょう!そしてすぐに捨てないでしばらくは保管しましょう!

※消費生活協力員は、消費者トラブルを未然に防ぐための活動や、消費生活に関する地域の見守り活動を行っています。